



須田っ子 第12号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・GA・DA

「答えは一つではない」(プログラミング教育)から (2019.1.23)



素晴らしき「元」

校長 内山 晋

「こたえは一つではない」
「教育」とは「教師が子供を教
えて育てる」使命が大きいで
す。しかし、時には「子供から
教えられ教師が育てられる」と
いう謙虚さも大切です。

新学習指導要領の「プログラ
ミング教育」は、子供の論理的
思考力の育成には重要と言わ
れつつ、従来の学校教育では未
開拓の分野です。

「習うより慣れろ」の気概で静
岡大学教育学部のプログラミング
教育導入カリキュラム提
供事業を受け、低学年対象のプ
ログラミング教育を行いました
。上の写真の虫型ロボットを
ゴールに移動させる学習です。
子供の感想にビックリ!
「二つずつ(分けて)考えると
ゴールできる」「答えは一つじ
ゃない」等々、想定していたこ
と違う子供の考えに、硬直した
頭が溶ける思いでした。

「答えは一つではなかった!」

現在、六年生は「ふるさと・
須田」学習では、百五十年前の
「加茂軍議」を題材に、21人
の子供たちが「対立から対話」
に変えるための知恵探しをし
ています。

当初は、「相手のことを考え

須田小 イイね!

三学期は「まとめる」時期です。しかし、この「まとめる」は「まるめる」とは違います。物事を整理せずに包み込んでしまう「まるめる」では、次のスタートが切れません。様々な意見を相互に関連付け、これから取り組むことを整理することです。自分は「何ができて」「何が足りないのか」「今できることは何か」をはっきりさせ、小さな一歩でもスタートを切ることができるよう指導していきます。まさに縦軸思考です。



1/17(木) めあて朝会

3学期のめあてを発表する全校朝会です。発表内容は、中ページにあります。ホームページ上では音声データを試聴できます。



1/15(火) 全校書き初め大会

全校書き初め大会をしました。鉛筆と墨の違いはありますが、黒と白のバランスを考えた力作が出来上がりました。



1/18(金) 6学年 須田中入学説明会

須田中学校での入学説明会がありました。一小一中のよさを最大限に生かすことができるように、情報の共有と具体的な取組の共通化を進めていきます。



1/22(火) 租税教室

6学年の租税教室では、加茂市税務課職員の方と、税の「活用」面について学習しました。



1/25(金) BFC

BFC(少年消防団)に入団する4年生が着るユニフォームの試着をしました。1ヶ月後に入団式があります。

須田小のページ
ここへ



る「謝る」等の考えの子供たちも、当時の激論の記録を見て、ついには「意見の合わない人と話合っても口論になるだけ」と、やや諦めモードに。過去のこととして歴史を見るのではなく、歴史から学び、これからの生き方について考える(縦軸思考)は、変化の激しい社会に対応するためにも必要です。当時を生きた人たちにになりきり演技する中で、「答えは一つではなかった」ことを探し出すことは価値あることだと思います。

足し算をして一つの答えを!

図書委員会の発案で、須田小学校「本の海図書館」の名にふさわしい「入り口」にしようとして、全校からたくさんのアイデアが集まりました。折角の素敵なアイデアを生かしたい。そこで、須田中学校で美術の先生をされている長谷川先生にお願いして、一つの答え(作品)にまとめていただきました。二月中に完成予定です。

「できるために、何をやる!」

「どんな困難も人が作り出したこと、解決できるのは人だけ」第35代アメリカ大統領 J・F・ケネディの言葉です。「実現していないことを夢見ず」着実に取り組み続けま